

生涯教育研修活動報告書

病理検査研究班

実施日時：平成 29 年 4 月 28 日（金） 19 時 00 分～21 時 00 分

会場：浦和コミュニティーセンター 第 13 集会室 点数：基礎教科—20 点

主題：顕微鏡の扱いや写真撮影の基本を身に着けよう！

講演 1：顕微鏡の使用法と保守について

講師：菅原 比呂澄（オリンパスメディカルサイエンス
販売株式会社 機器企画部）

講演 2：きれいなマクロ・ミクロ写真を撮ろう！

～SNS 用写真にも応用できます！～

講師：三鍋 慎也（防衛医科大学校病院 検査部病理）

司会：高橋 俊介（株式会社ピーシーエルジャパン

病理細胞診センター）

協賛： _____

参加人数： 会員 57 名，賛助会員 1 名，非会員 0 名

出席した研究班班員：岡村卓哉，森田繁，荻真里子，金泉恵美子，三鍋慎也，
細沼佑介，関口久男，高橋俊介，今村尚貴

研修内容の概要・感想など

顕微鏡やカメラは病理検査業務では必要不可欠な機器である。今回の研修会では顕微鏡やカメラの原理を理解すること、そして基本操作や保守、写真撮影の応用テクニックについて 2 人の講師にご講演いただいた。

講演 1 では、顕微鏡の原理として観察の 3 つの要素である倍率・分解能と開口数の関係・コントラストをわかりやすく解説していただいた。基本操作では長時間の鏡検による疲労蓄積が、顕微鏡を未調整のまま使用してもヒトの眼がピントを調整してしまう身体の特徴が原因であることがわかった。観察者が十分に顕微鏡の性能を活用でき、また、観察者の身体的負担も軽減できるよう調整や操作法、保守を熟知しておきたい。

講演 2 では、カメラの仕組みなどの基礎知識からマイクロやマクロ写真の撮り方、応用テクニックを講演いただいた。病理検査業務では必要不可欠なカメラであるが、日常生活においてもスマートフォンやコンパクトデジタルカメラなど取り扱いが簡単なものも多く普及しているため、今では身近な機器である。だが、撮影時に性能まで熟知してそのシーンに合わせた最良の撮影を行うことは難しい。今回の講演を業務に生かしてもらうことはもちろんだが、それ以外でも活用して楽しいカメラライフにしたいと思う。

提出日：平成 29 年 5 月 22 日

文責：金泉 恵美子